



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月6日

上場会社名 丸紅建材リース株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9763 URL <http://www.mcml-maruken.com/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)内山 元雄  
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)梶谷 誠 (TEL)03(5404)8200  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	15,805	3.4	562	△15.1	915	△0.9	739	2.4
29年3月期第3四半期	15,280	2.3	662	△4.0	924	1.2	722	△1.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 825百万円(17.1%) 29年3月期第3四半期 705百万円(11.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	22.18	—
29年3月期第3四半期	21.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	32,869	12,188	37.1
29年3月期	32,574	11,562	35.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 12,188百万円 29年3月期 11,562百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	△5.2	850	4.2	1,230	6.3	940	1.1	28.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期3Q	34,294,400株	29年3月期	34,294,400株
30年3月期3Q	958,441株	29年3月期	957,731株
30年3月期3Q	33,336,195株	29年3月期3Q	33,337,717株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年4月～12月)におけるわが国経済は、海外経済の回復を受けた輸出の増加や国内需要の持ち直しにより、幅広い業種で企業収益の改善傾向が続いています。

わが国の土木・建設業界は、人手不足が改善されない状況下、その影響を受けたゼネコンの選別受注が続くものの、全体としては首都圏の大型再開発案件や公共事業を中心に堅調に推移しています。

この様な環境の中、当社グループは、新中期経営計画「成長への新機軸の創造」の2年目となり、引き続き賃貸重視の方針継続、安全対策の推進、M&Aを含めた新規戦略投資を中心に、基本戦略に沿って収益基盤の強化を図っております。海外のタイ国では、空港拡張工事を始めとした大型プロジェクト案件が本格的に動き出しており、タイ丸建(株)は重仮設鋼材の追加購入を行うなどの対応をとりました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は賃貸稼働量の増加と工事案件の進捗により、158億5百万円(前年同期比5億24百万円、3.4%増)と増収になりました。利益面では、営業利益は首都圏での賃貸単価の伸び悩みと東北地域の落ち込みの影響で、5億62百万円(同99百万円、15.1%減)と減益になりましたが、経常利益はタイ丸建(株)など持分法による投資利益の増により、9億15百万円(同8百万円、0.9%減)と前年並みになり、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益が加わり、7億39百万円(同17百万円、2.4%増)と微増になりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## ①重仮設事業

売上高は賃貸稼働量の増により、122億88百万円(前年同期比81百万円、0.7%増)となりましたが、セグメント利益は賃貸単価の伸び悩みと販売案件の利益減により、9億8百万円(同2億円、18.1%減)となりました。

## ②重仮設工事業

首都圏を中心に大口工事案件が進捗したため、売上高は24億8百万円(同3億81百万円、18.8%増)、セグメント利益は1億14百万円(同99百万円、646.3%増)と増収増益になりました。

## ③土木・上下水道施設工事等事業

官庁工事の受注が伸び悩んだため、売上高は11億9百万円(同58百万円、5.5%増)、セグメント利益は29百万円(同3百万円、12.6%)と微増に留まりました。

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、電子記録債権の増加額7億40百万円、建設機材及び商品の増加額6億30百万円、投資その他の資産の増加額4億36百万円と受取手形及び売掛金の減少額16億82百万円などにより、前期末比2億94百万円増の328億69百万円となりました。

負債合計は、借入金の減少額7億30百万円と電子記録債務の増加額4億32百万円などにより、前期末比3億30百万円減の206億81百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益7億39百万円の計上による増加額と配当金2億円の支払による減少額などにより、前期末比6億25百万円増の121億88百万円となり、自己資本比率は1.6ポイント増の37.1%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績は期初予想通り進捗しており、現時点において、平成29年5月15日公表の平成30年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,933	1,808
受取手形及び売掛金	7,797	6,115
電子記録債権	1,739	2,479
建設機材	8,932	9,262
商品	34	334
材料貯蔵品	250	249
未成工事支出金	64	96
その他	259	467
貸倒引当金	△33	△36
流動資産合計	20,978	20,778
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,027	8,027
その他(純額)	1,036	1,097
有形固定資産合計	9,063	9,124
無形固定資産	10	8
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	-	58
その他	2,570	2,920
貸倒引当金	△49	△20
投資その他の資産合計	2,521	2,957
固定資産合計	11,595	12,091
資産合計	32,574	32,869

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,408	7,421
電子記録債務	430	863
短期借入金	3,800	3,800
1年内返済予定の長期借入金	2,150	1,850
未払法人税等	141	55
引当金	303	126
その他	1,563	1,688
流動負債合計	15,798	15,806
固定負債		
長期借入金	4,110	3,680
退職給付に係る負債	27	25
引当金	24	24
その他	1,052	1,145
固定負債合計	5,214	4,875
負債合計	21,012	20,681
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,651	2,651
資本剰余金	924	924
利益剰余金	6,022	6,561
自己株式	△135	△135
株主資本合計	9,462	10,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	203	260
土地再評価差額金	1,975	1,975
為替換算調整勘定	△82	△57
退職給付に係る調整累計額	2	6
その他の包括利益累計額合計	2,099	2,186
純資産合計	11,562	12,188
負債純資産合計	32,574	32,869

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	15,280	15,805
売上原価	13,056	13,608
売上総利益	2,224	2,197
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	861	908
福利厚生費	163	173
退職給付費用	18	19
地代家賃	131	132
その他	386	401
販売費及び一般管理費合計	1,562	1,634
営業利益	662	562
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	15	21
持分法による投資利益	241	336
貸倒引当金戻入額	28	-
その他	32	37
営業外収益合計	318	395
営業外費用		
支払利息	43	38
その他	12	4
営業外費用合計	55	42
経常利益	924	915
特別利益		
投資有価証券売却益	-	19
特別利益合計	-	19
税金等調整前四半期純利益	924	935
法人税、住民税及び事業税	149	130
法人税等調整額	53	65
法人税等合計	202	196
四半期純利益	722	739
親会社株主に帰属する四半期純利益	722	739

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	722	739
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76	57
退職給付に係る調整額	1	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△94	26
その他の包括利益合計	△16	86
四半期包括利益	705	825
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	705	825

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,202	2,026	1,051	15,280	—	15,280
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	—	—	4	△4	—
計	12,206	2,026	1,051	15,285	△4	15,280
セグメント利益	1,109	15	26	1,150	△488	662

(注) 1 セグメント利益の調整額△488百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,288	2,408	1,109	15,805	—	15,805
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,288	2,408	1,109	15,805	—	15,805
セグメント利益	908	114	29	1,053	△490	562

(注) 1 セグメント利益の調整額△490百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。